

第六回

吾以祐和乃會

演奏出演者

常磐津 初勢太夫 連中

常磐津 菊寿郎

松永 忠次郎 連中

今藤 政十郎

連中

堅田 新十郎 社中

特別出演

尾上 右近
片岡 千之助

一、浦 島 長唄囃子連中

谷口 裕 和

一、供 奴 長唄囃子連中

片岡 千之助

一、積恋雪関扉 関の扉(下) 常磐津連中

山中隆成 美術

関守 関兵衛 尾上 右近
実は 大伴黒主

傾城 墨染 谷口 裕 和
実は 小町桜の精

平成三十年

九月十五日(土)

昼の部

午後一時 開場

一時三十分 開演

夜の部

午後五時 開場

五時三十分 開演

GINZASSIX

観世能楽堂

◇御観劇料

一等席 一〇、〇〇〇円
二等席 八、〇〇〇円
三等席 五、〇〇〇円

前売開始 七月三十日(月)

Webチケット予約

e+(イープラス)
<http://eplus.jp>

◇お問い合わせ

谷口裕和事務所
〇三(三七七四)〇〇五九

後援

高山市

協力

松竹株式会社

第六回 谷口裕和の会



谷口裕和



片岡千之助



尾上右近

「長唄浦島」くうらしまゝ

龍宮城から戻った浦島が、風に舞う蝶に乙姫を憶（おも）いつつ、玉手箱を開けると、白髪の老人となるという、ご存知「浦島太郎」のお伽噺を題材とした歌舞伎舞踊です。美しい旋律に乗せ、蝶との踊り、二枚扇の振りなど浦島の乙姫への心を描くロマンチックな作品となっています。

「長唄供奴」くともやつこゝ

にぎわう新吉原の夜桜の下、主人を見失ったお供の奴が提灯を片手に駆け出てきます。江戸の粋、伊達な風情を描く歌舞伎の立役（男役）の代表的な人気曲です。独特な奴の足遣い、キレのいい動き、後半に用意された足拍子での息を呑むお囃子との掛け合い。見どころの多い作品です。

「常磐津 関の扉（下）」くせきのとゝ

雪の積もる逢坂山の関所で、今を盛りと咲く桜の古木。ここを舞台にした美しい小町姫と先帝の忠臣宗貞の恋物語が上巻。今回ご覧に入れる下巻では、桜の精が現れ、関守に身を変えていた謀反人の黒主に近づきます。桜の精は恋人のかたき黒主を狙っているのです。時代物の歌舞伎の顔見世狂言で、花形の役者が揃って腕を競い合える作品として、多くの名優たちに演じられてきました。大変に聴きどころのある常磐津を代表する大曲です。

いずれも紋付袴の素踊りで、歌舞伎舞踊の彩りの華やぎを踊り分けてゆく、日本舞踊のおもしろさを感じていただける演目です。

過去の公演より



第五回谷口裕和の会
国立劇場大劇場
清元「種時三番叟」
三番叟 谷口裕和
千歳 尾上右近
写真/田口真佐美



第四回谷口裕和の会
セルリアンタワー能楽堂
長唄「賤機帯」
狂女 谷口裕和
舟長 片岡千之助
写真/木越由美子



第五回谷口裕和の会
国立劇場大劇場
竹本・長唄「京鹿子娘道成寺」
白拍子花子 谷口裕和
写真/桑田絵梨

GINZA SIX 観世能楽堂

〒104-0061 東京都中央区銀座6-10-1 GINZA SIX B3F

地下鉄銀座駅からGINZA SIX地下2階をつなぐ連絡通路が開通しました

電車でお越しのお客様

- 銀座駅/東京メトロ銀座線・日比谷線・丸の内線
A2出口、A3出口より徒歩2分
- 東銀座駅/東京メトロ日比谷線・都営浅草線
A1出口より徒歩3分
- 有楽町駅/JR山手線・京浜東北線、東京メトロ有楽町線
銀座出口より徒歩10分



題字 川邊りえこ デザイン 田久保 彬

創業寛政六年
宗和流本膳

飛騨高山
料亭 洲さき

高山市神明町四丁目十四番地
電話(〇五七七)三二〇〇二三